

〔討論〕 沖本

それでは、議長のお許しをいただきましたので、ざま大志会を代表し、本臨時会に上程されました議案第1号、令和4年度座間市一般会計補正予算（第13号）について、反対の立場を明らかにし、討論を行います。

反対する事業費は、歳出の款2総務費、項1総務管理費、目10財産管理費、説明欄1、財務・財産管理費、（1）市庁舎設備等の計画的更新、市庁舎維持管理事業費の1億3,603万7,000円であります。特に節17の備品購入費1億2,553万2,000円は、組織改編に伴い事務机等の入替えに係る費用とのものでしたが、物価高騰により生活が困窮されている市民がいらっしゃる現状において、なぜ今、この時期に予算計上しなければならないのか、その緊急性や必要性に疑義を唱えるものであります。

総括質疑でも分科会質疑でも、こうしたことの質疑、答弁が交わされていますが、例えば総括質疑の答弁で、この事業の有効性として、現状の机や椅子の移動費用の軽減という説明がありましたが、分科会質疑では、移動費用の概算をただしたところ、「規模がはっきりしませんので、正直分かりません」との答弁でした。費用の有効性の全体像が分からないままの事業立案としていかなものかと考えるものです。

また、「今後の計画として、DXの推進、ペーパーレス、電子決裁などへの対応として、フリーウエーにして端末の中で全て行えるように順次計画していく」との説明もありましたが、そうした全体的な計画が示されないまま先走りするような事業立案としても疑義を唱えるものであります。

また、こうしたことはいつから検討していたのかという質疑に対して、「前から話は出ていましたが、はっきりしたことは言えない」との答弁からも、全庁的な協議が進められた事業立案として疑義を唱えます。

さらに、廃棄に関しての方法もまだまだ協議する余地があると考えますし、市民サービスの向上についても、将来的にはという話の中であり、その明確な姿は示されていないものと考えます。

これらのことから、私たちざま大志会としては、この他の事業については市民から納得いただけるものと賛意を表しますが、1億2,553万2,000円もかかる事務机等の入替えに係る費用については、市民から納得いただける事業ではないと考え、反対をするものです。

以上、議案第1号について反対の意見を申し上げます。議員諸氏におかれましては、ご賛同いただきますよう壇上から呼びかけまして、ざま大志会を代表としての討論とさせていただきます。（拍手）